

# 令和5年度 雪等による労働災害の現状 (令和5年12月～令和6年3月)

令和6年11月  
新潟労働局

## 1 年度別の推移

昨冬の新潟県内における雪による労働災害(休業4日以上)の死傷者数は96人で、前年度比-144人(-60%)の大幅な減少となった。

## 2 業種別の内訳

業種別では、「製造業」で20人(20.8%)発生している。次いで、「スキー場」で19人(19.8%)、「建設業」で10人(10.4%)となっている。

## 3 事故の型別の発生状況

事故の型別では、「転倒」が76人(79.2%)と最も多く、全体の約8割を占めている。次いで、「墜落・転落」が7人(7.3%)となっている。

## 4 年齢別の発生状況

年齢別では50歳代(34人)が最も多く、次いで、40歳代(19人)、60歳代(18人)となっている。50歳以上の労働者が全体の約6割を占めている。

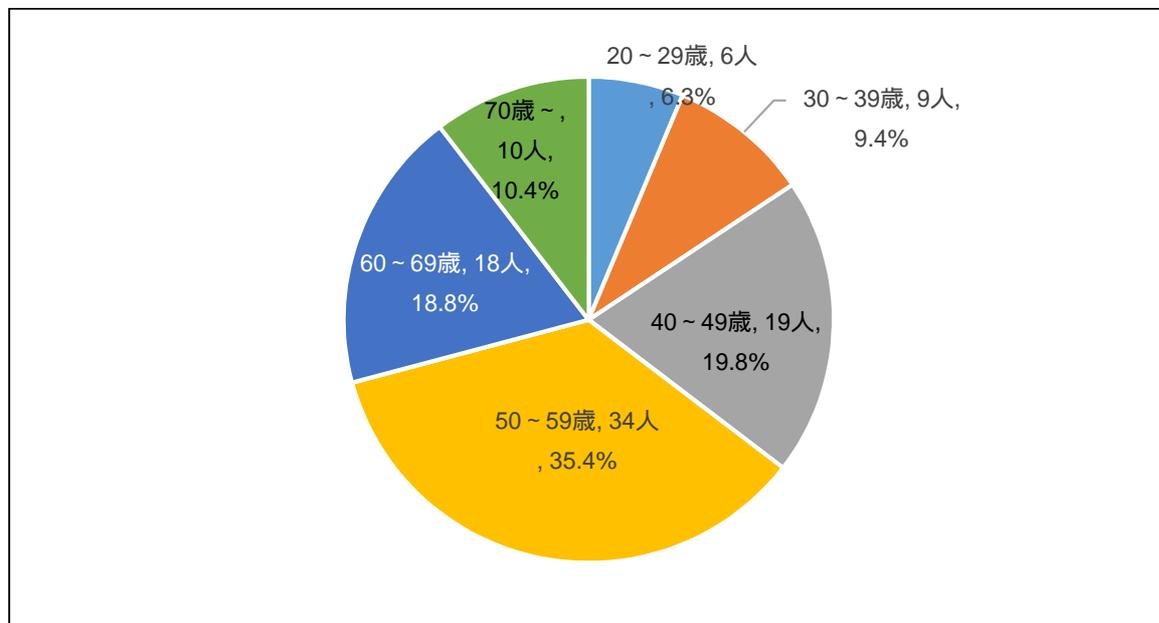


図1 年齢別雪等による労働災害発生状況

## 5 月別の発生状況

月別では、「12月」に25人、「1月」に38人、「2月」に17人、「3月」に16人となっている。

## 6 転倒災害の概要

転倒災害での死傷者数は76人で、雪による労働災害全体の約8割を占めており、また、50歳代・60歳代の高年齢労働者における災害発生率が高く、転倒すると重症化して休業日数が長期化している傾向になっている。

また、最低気温が氷点下2度以下になると一気に転倒災害の発生リスクが高まる傾向が見られる。

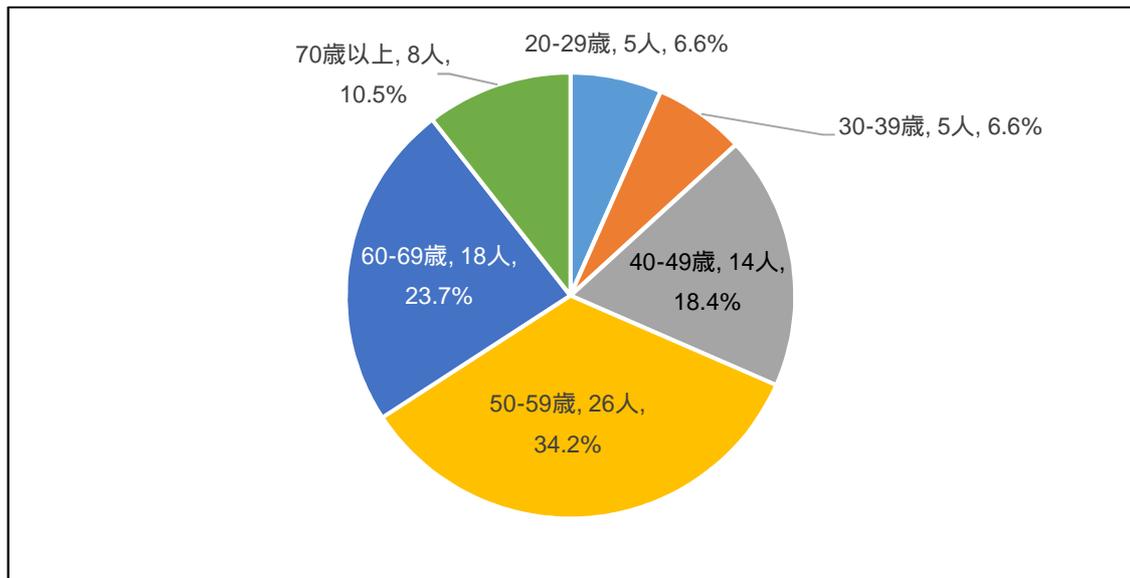
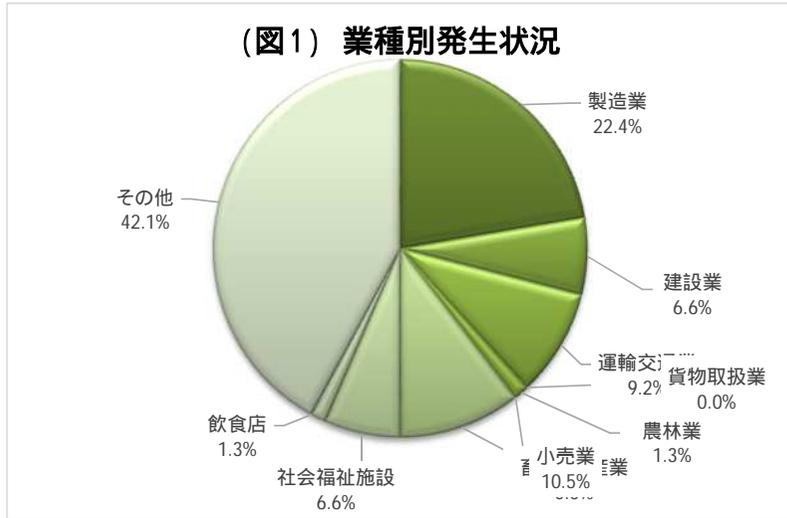


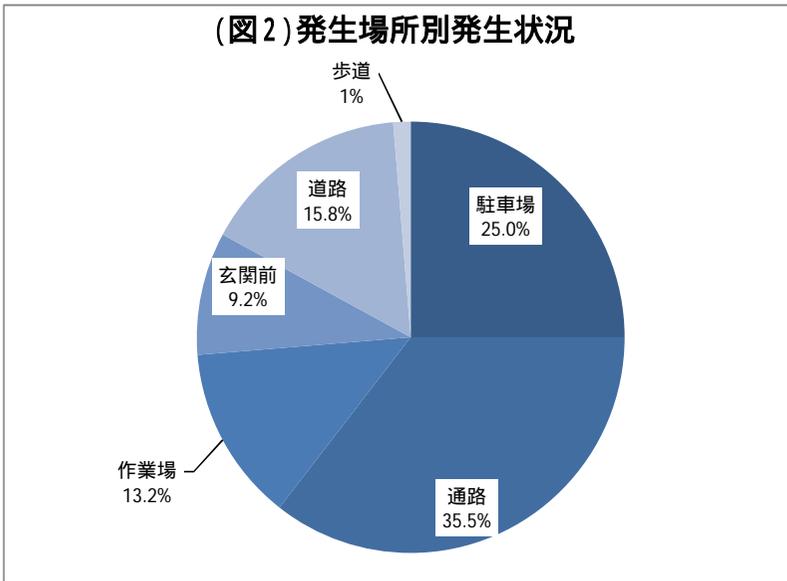
図2 年齢別転倒災害発生状況

# 冬季特有労働災害の概要(転倒災害)

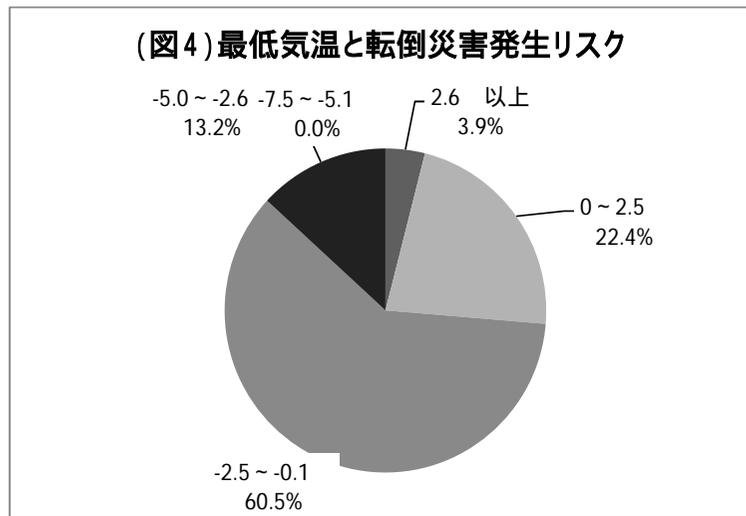
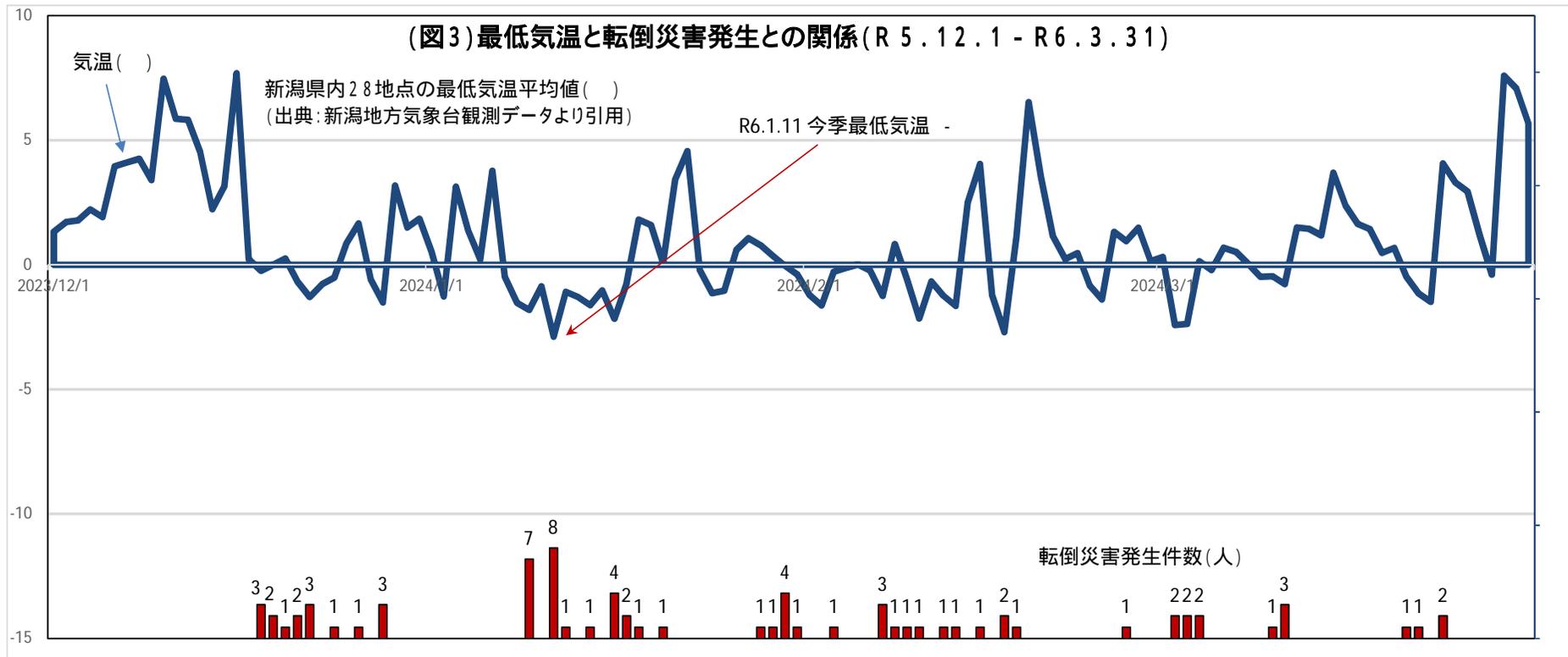
令和6年11月 新潟労働局



業種	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
製造業	27	14.3%	17	22.4%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%
建設業	14	7.4%	5	6.6%
運輸交通業	27	14.3%	7	9.2%
貨物取扱業	1	0.5%	0	0.0%
農林業	1	0.5%	1	1.3%
畜産・水産業	3	1.6%	0	0.0%
小売業	43	22.8%	8	10.5%
社会福祉施設	17	9.0%	5	6.6%
飲食店	1	0.5%	1	1.3%
その他	55	29.1%	32	42.1%
計	189	100.0%	76	100.0%



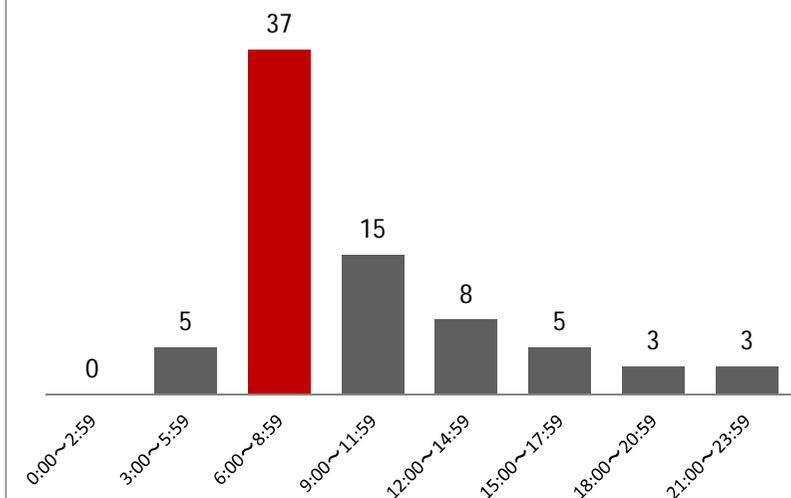
発生場所	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
駐車場	64	39.4%	19	25.0%
通路	57	17.1%	27	35.5%
作業場	11	15.9%	10	13.2%
玄関前	29	8.2%	7	9.2%
道路	23	16.5%	12	15.8%
歩道	5	2.9%	1	1.3%
計	189	100.0%	76	100.0%



気温	令和4年度 (R4.12 ~ R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12 ~ R6.3)	割合
2.6 以上	3	1.6%	3	3.9%
0 ~ 2.5	22	11.6%	17	22.4%
-2.5 ~ -0.1	80	42.3%	46	60.5%
-5.0 ~ -2.6	68	36.0%	10	13.2%
-7.5 ~ -5.1	16	8.5%	0	0.0%
-10 ~ -7.6	0	0.0%	0	0.0%
-10 以下	0	0.0%	0	0.0%
計	189	100.0%	76	100.0%

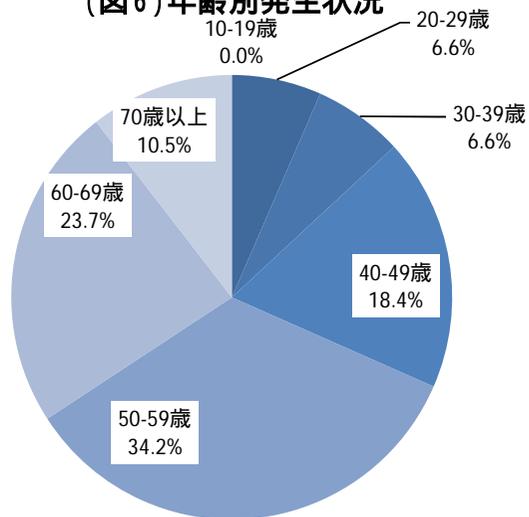
最低気温は新潟県内28地点の最低気温平均値を引用  
(出典:新潟地方気象台観測データ)

(図5) 時間帯別発生状況



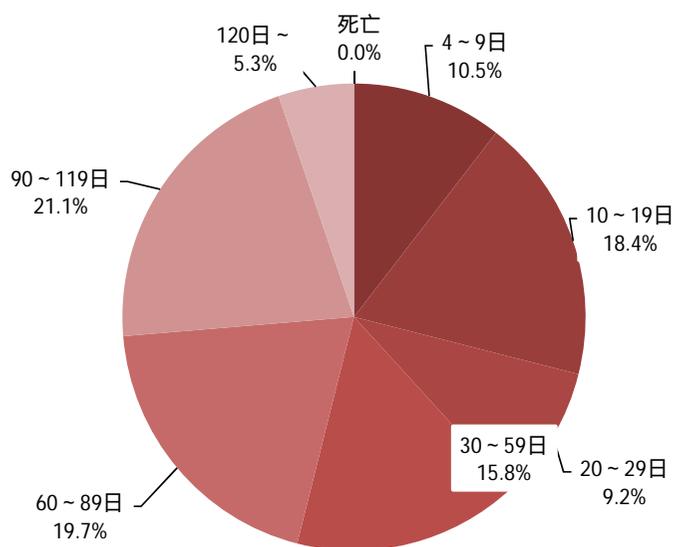
時間帯	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
0:00~2:59	4	2.1%	0	0.0%
3:00~5:59	19	10.1%	5	6.6%
6:00~8:59	79	41.8%	37	48.7%
9:00~11:59	43	22.8%	15	19.7%
12:00~14:59	14	7.4%	8	10.5%
15:00~17:59	18	9.5%	5	6.6%
18:00~20:59	6	3.2%	3	3.9%
21:00~23:59	6	3.2%	3	3.9%
計	189	100.0%	76	100.0%

(図6) 年齢別発生状況



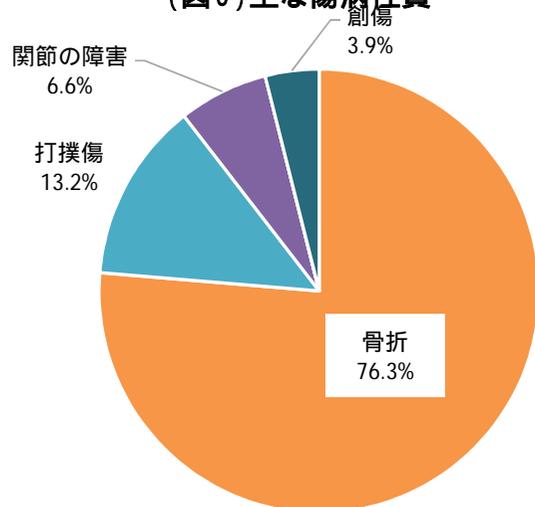
年齢	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
10-19歳	1	0.5%	0	0.0%
20-29歳	7	3.7%	5	6.6%
30-39歳	16	8.5%	5	6.6%
40-49歳	30	15.9%	14	18.4%
50-59歳	51	27.0%	26	34.2%
60-69歳	58	30.7%	18	23.7%
70歳以上	26	13.8%	8	10.5%
計	189	100.0%	76	100.0%

(図7)休業見込日数



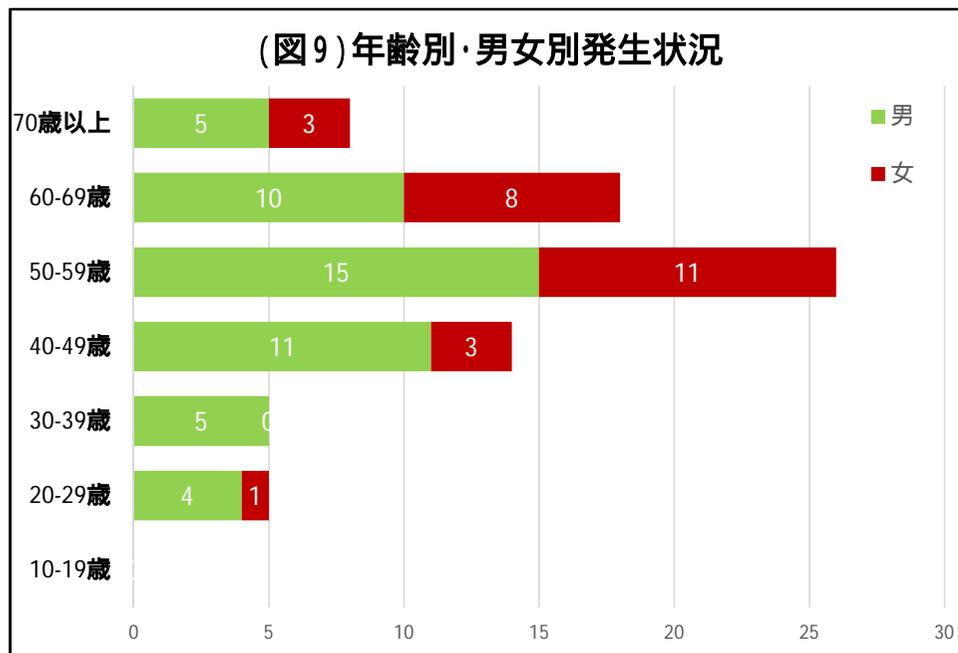
休業日数	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
4~9日	31	16.4%	8	10.5%
10~19日	25	13.2%	14	18.4%
20~29日	21	11.1%	7	9.2%
30~59日	56	29.6%	12	15.8%
60~89日	32	16.9%	15	19.7%
90~119日	21	11.1%	16	21.1%
120日~	3	1.6%	4	5.3%
死亡	0	0.0%	0	0.0%
計	189	100.0%	76	100.0%

(図8)主な傷病性質



傷病性質	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合	令和5年度 (R5.12~R6.3)	割合
骨折	129	68.3%	58	76.3%
打撲傷	37	19.6%	10	13.2%
関節の障害	18	9.5%	5	6.6%
むち打ち症	0	0.0%	0	0.0%
創傷	5	2.6%	3	3.9%
計	189	100.0%	76	100.0%

(図9) 年齢別・男女別発生状況



令和5年度(R5.12~R6.3)

年齢	男	割合	女	割合
10-19歳	0	0.0%	0	0.0%
20-29歳	4	8.0%	1	3.8%
30-39歳	5	10.0%	0	0.0%
40-49歳	11	22.0%	3	11.5%
50-59歳	15	30.0%	11	42.3%
60-69歳	10	20.0%	8	30.8%
70歳以上	5	10.0%	3	11.5%
計	50	100.0%	26	100.0%

令和5年度(R5.12~R6.3)

休業見込	19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
4~9日				2	2	3	1
10~19日		2		2	6	2	2
20~29日		1		2	2	1	1
30~59日		1	1	3	4	3	
60日以上		1	4	5	12	9	4
計		5	5	14	26	18	8

(図10) 年齢別の休業見込み期間の長さ

